

フランスを中心とする
欧州のコンテンツ市場調査
(2011-2012)
テレビ編

2013年2月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 調査企画課

本報告書に関する問合せ先:

日本貿易振興機構(ジェトロ)

調査企画課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL: 03-3582-5544

FAX: 03-3582-5309

E-mail: ORA@jetro.go.jp

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

内容

I. フランス	4
フランスでは 2011 年 11 月にデジタル放送へ完全移行	4
予算不足に苦しむフランス TV 業界.....	4
TNT に、テーマを打ち出した 6 つの無料放送局が登場.....	5
ストリーミングサービス～新たな脅威となるか.....	8
II 2011 年および 2012 年における欧州の TV 市場	27
【付録】 2011 年および 2012 年における欧州主要国の TV 市場における日本アニメの状況.....	29
[ドイツ]	29
[英国]	30
[イタリア]	31
[スペイン]	33
まとめ（欧州の現状）	34

I. フランス

フランスでは 2011 年 11 月にデジタル放送へ完全移行

フランスでは 2005 年から地上波アナログ放送と地上波デジタル放送(Télévision Numérique Terrestre、以下「TNT」と略)の並行放映が開始し、2009 年に政府による地域別 TNT 放送が本格化した。2011 年 11 月 29 日をもって、フランス本土全体が TNT へと完全に切り替わった。これにより、フランスの視聴者は、それまでの地上波アナログ 6 局から 19 局(2011 年 11 月末時点)の TNT 放送を受信できることとなった。

予算不足に苦しむフランス TV 業界

フランスピューブの 2012 年 9 月の発表によると、2012 年上半期のテレビ広告市場は 16 億 5,500 万ユーロと媒体別では依然最大であったが、前年同期比では 4.2%減少した。他方、モバイルへの広告は同時期に 20.9%、インターネットへの広告は 5.5%伸びた。こうした企業が広告掲載先として選択する媒体の多様化や、放送局数の増加に伴い、各局間における広告獲得のための競争が激化している。

こうした中、再大手の有料放送局「CANAL+」が、「groupe Bolloré」傘下の無料放送局「Direct8」と「Direct Star」を買収し、新たに「D8」と「D17」として 2012 年 10 月から放送を開始した。2012 年 10 月 8 日付レゼコー紙(電子版)によれば、「groupe Bolloré」は投資をするも回収が困難であったことから、激化する競争の中で「CANAL+」から買収を提案され、合意に至ったという。

「CANAL+」の 2 局買収によって財政状況が厳しい他局が淘汰されるとの懸念を受け、メディア放送を規制する「視聴覚最高評議会(CSA)」は 2012 年 9 月、買収の認可にあたり[条件](#)を課した。事業者間のバラ

ンスを保ち国産の視聴覚作品の支援を強化するため、高視聴率の時間帯における米国の新作ドラマの「D8」での放映を、3年にわたり平均週1回に制限するといった内容だ。

公共放送局を束ねる「France Television」の2013年の予算における広告純収入は、[同社HP](#)によると2012年比で9,100万ユーロ減少した。この補填のため、2013年の視聴料金（1年）は前年比6ユーロ増の131ユーロとなった。

TNTに、テーマを打ち出した6つの無料放送局が登場

2012年12月12日、TNTに新たに6つの無料放送局が加わった。各局は「映画・ドラマ」、「スポーツ」、「女性」等のテーマに特化し、低予算ではありながら視聴者のニーズに応える。6局の新規参入を決定した「視聴覚最高評議会(CSA)」の代表は、2012年12月11日付フィガロ紙のインタビューで、視聴者は「現在、TNTでは放映されていない、テーマ性をもったもしくは的を絞った番組を、無料で視聴できるようになる」、「市場が厳しい状況にあるからこそ、後退せずに革新をすべきだ」、「新たな局はテーマ・的を絞っているのだから、今まで存在しなかったスポンサーを惹起するのではないか」との見解を示した。

6局はブロック分けされた地域ごとに段階的に導入される予定で、現在フランス全世帯の25%で視聴可能だが、2015年にはすべての世帯で視聴が可能となる。

フランスにおける25の地上波デジタル（TNT）無料放送局

（注1）（カッコ）内は運営事業者名、（注2）*は公共放送）：

<u>チャンネル名</u>	<u>ジャンル</u>
---------------	-------------

TF1 (Groupe TF1)	総合
France 2*(France Television)	総合
France 3*(France Television)	総合
France 4*(France Television)	総合
France 5*(France Television)	総合および教養
France 0*(France Television)	青少年および海外県向け
Arte*(France Television)	総合 (教養)
Canal + en clair(Canal+ Group)	総合
M6(Groupe M6)	総合 (娯楽)
D8 (Canal+ Group)	総合
W9(Groupe M6)	総合
TMC(Groupe TF1& モナコ公国)	総合
NT1(TF1)	総合
NRJ12(NRJ Groupe)	総合
La Chaîne Parlementaire*(France Television)	専門 (議会中継など) (注: 直訳は議会チャンネル)
BFM TV(Next RadioTV)	情報
i-Télé(Groupe CANAL+)	情報
D17 (Groupe CANAL+)	音楽
Gulli(LAGARDERE)	幼年～青少年

<2012年12月12日に新たに加わった6局>

HD1 (Groupe TF1)	ドラマ
L' Equipe 21 (Groupe Amaury)	スポーツ
6ter (Groupe M6)	ファミリー
Numéro 23 (Société Diversité TV France)	バラエティー
RMC Découverte (Groupe NextRadioTV)	ドキュメンタリー
Chérie HD (Groupe NRJ)	女性向け

出所：ジェトロ調べ

上記の19チャンネルに加え、有料チャンネルとして以下の6チャンネルがある（以下参照）。

フランスにおける6の地上波デジタル（TNT）有料放送局

（注）（カッコ）内は運営する事業者名

Canal+ (Canal+ Group)	バラエティーおよびドラマ
Canal+ Sport (Canal+ Group)	スポーツ
Canal+ Cinéma (Canal+ Group)	映画
Planète+(Canal+ Group)	ドキュメンタリー
Paris Première(Groupe M6)	バラエティーおよびカルチャー

TF6 (Groupe TF1 & Groupe M6) バラエティーおよびドラマ

LCI (Groupe TF1) 情報

Eurosport (Groupe TF1) 専門 (スポーツ関連)

出所：ジェトロ調べ

これらに加え、ケーブル、衛星あるいはADSLで視聴可能な、有料および無料の100あまりのチャンネル、さらに何百という外国のTV局がある。これらの局は、フランス全世帯の64% (出所：Médiamétrie 2012年7月発表資料) を占めるケーブル・衛星もしくはADSLテレビの契約世帯の視聴を得るべくしのぎを削っている。

ストリーミングサービス～新たな脅威となるか

ネット上の映像プラットフォームを通じてストリーミング配信されるネットテレビは、米国を中心として近年急速に進化を遂げつつある。フランスでもYoutubeやDailymotion等が配信を開始している。

2012年10月にはYouTubeが、新しい13のネットテレビチャンネルの近日中の配信を発表した。チャンネルは時事ニュース、情報、コメディ、健康、音楽、スポーツ、料理などさまざまな分野に分かれているが、いまのところアニメーションは扱っていない。

また、2012年1月に英国で映画やテレビ番組のオンデマンド・ストリーミングサービスを開始した米国・ネットフリックスや、アマゾン、アップル、グーグル等の参入可能性が、フランスのテレビにおける脅威として報じられている。もっとも、フランスでは映画初公開後4カ月は、オンデマンド有料配信

やビデオの販売・レンタルを原則行えないため、国内のテレビ事業者はある程度は守られるとの見方もある。

フランスで現在日本アニメを定期的あるいは単発で放映しているチャンネルは以下の通り。中でも下線で示した TNT 局は、特に多数かつ広範な視聴者層を得ている。

日本アニメを定期的あるいは単発で放映している TV 局 (2013 年 1 月現在)

(注 1) (カッコ) 内は運営事業者名、(注 2) 下線で示した局は TNT 放送

MANGAS (AB)

D17 (Canal+ Group)

TELETOON+ (Canal+ Group)

DISNEY CHANNEL XD (DISNEY)

FRANCE 2 (France Television)

FRANCE 5 (France Television)

France 0 (France Television)

GONG TV (独立系)

NOLIFE (独立系)

GULLI (LAGARDERE)

CANAL J (LAGARDERE)

MCM (LAGARDERE)

JUNE (LAGARDERE)

TIJI (LAGARDERE)

NT1 (TF1)

CARTOON NETWORK (TURNER/WARNER)

出所：ジェトロ調べ

公共の文化チャンネル「ARTE」（地上波アナログ放送・現在では TNT 無料チャンネル）では 2010 年春、宮崎駿作品の特集が生まれ、「天空の城ラピュタ」、「風の谷のナウシカ」、「もののけ姫」、「ハウルの動く城」、「となりのトトロ」、「千と千尋の神隠し」が放映された。

また、ほとんどの映画専門チャンネルでは、頻度の差はあれ、日本アニメ映画を定期的に放映している。例えば、「AB グループ」の映画専門チャンネル「CINE FX」（ケーブル・衛星・ADSL）では、2013 年 1 月に日本アニメの特集を組んだ。（放映作品は、「FLAG」、「スチームボーイ」、「ファイナル・ファンタジー1」、「First Squad」）

つぎに、日本アニメを放映するフランスのテレビ局で扱われている日本アニメ等についてチャンネル別に内容を紹介する。

< AB グループ >

MANGAS :

「Canal+ Group」が運営する衛星放送サービス「CanalSat」でパッケージ放映されており、その他のサービスを通じて視聴する場合はオプションで有料となる。1カ月の合計視聴者は約174万5,000人（出所：Médiamétrie 2012年7月発表資料）。

MANGAS チャンネルでは、以前は昔のアニメシリーズのリマスター版を主に放映していたが、最近では「ソウルイーター」、「べるぜバブ」など、より多くの視聴者を獲得できる新シリーズの放映に力を入れ始めており、2013年も引き続きこの方針を保持していく予定だ。フランスでは初放映となった「べるぜバブ」の場合、同局によれば平均1万8,000人の視聴者を獲得している。

MANGAS チャンネルの視聴者が好むジャンルは圧倒的に少年ものである。少女もの、文芸作品をアニメ化した昔のシリーズなどは人気がない。青年ものについては、深夜放映枠でよい数字が得られているという。

2012年にMANGASチャンネルで放映された日本アニメ作品

「Blue Seed」

「聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話」

「コブラ」 （リマスター版）

「名探偵コナン」

「ドラゴンボール」

「ドラゴンボールZ」

「めぞん一刻」

「北斗の拳」

「ハイスクール!奇面組」

「シティーハンター」

「キャプテン翼」

「キャプテン翼: Road to 2002」

「小公女セーラ」

「らんま 1/2」

「宇宙伝説ユリシーズ 31」 (日仏合作)

「エンジェル・ハート」

「べるぜバブ」

「コードギアス」

「カウボーイビバップ」

「天元突破グレンラガン」

「Hunter x Hunter」

「頭文字D」

「犬夜叉」

「聖闘士星矢 冥王ハーデス」

「聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話」

「最遊記」

「ソウルイーター」

「ヴァンドレッド」

「天空のエスカフローネ」

「遊☆戯☆王 5D's」

「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX」

「Zombie Loan」

上記のうち、同局によると 2011 年および 2012 年で視聴者数が多かったものは次の作品。

「べるぜバブ」

「コブラ」 (リマスター版)

「ハイスクール!奇面組」

「聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話」

「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX」

アニメ作品以外では、「DRAGON GATE PRO WRESTLING」等の日本のプロレス番組が好評であった。他方、「スーパー戦隊」シリーズはテスト放映の結果、期待した結果がまったく得られなかったため放映は見送られることとなった。MANGAS チャンネルでは定期的に日本アニメの劇場版および TV 用長編アニメ作品も放映している。

<CANAL+グループ>

D17 :

「CANAL+」による買収に伴い、2012年10月よりそれまでのTNT無料チャンネルであった「Direct 17」は「D17」と名前を変えた。放映内容は従来と変わらず、主にヤングアダルト～アダルト層（15-49才）を対象とした音楽関連中心の総合的な番組編成である。「D17」は、その年間プログラムのうちの75%を音楽番組に振り分けねばならない。

「Direct 17」の頃と同様、「D17」でもプライムタイムに放映される人気日本アニメによって、多くの視聴者を獲得している。2011年12月には、チャンネル中で最も人気のシリーズであるアニメ「One Piece」80話が放映され、同局によれば平均40万人の視聴者を得た。そのうち最もよく見られたエピソードの平均視聴者数は54万1,000人であり、ピーク時には62万3,000人に達したという。

同局によれば、2011年12月に放映された「ドラゴンボールZ」も、平均で約30万人の視聴者を得た。また2011年には、プライムタイムに「ドラゴンボールZ」の特集番組として、「ドラゴンボールZ」の4つの劇場版およびTV用長編が放映され、約30万人の視聴者数と、競争のもっとも激しい時間帯としては十分に満足の行く数字を得たという。

同時期の2011年12月、同局では週末に新たな日本アニメの放映時間枠を設け、「Fairy Tail」を放映し、約28～35万人の視聴者を得ることに成功したという。

一方で「Bleach」は上記2タイトルに比べ振るわなかったほか、「黒執事」、「鋼の錬金術師」も期待に反する結果に終わった。後述2作はおそらく前年2010年にすでに放映されすぎたのが原因ではないかと思われる。

「D17」では、引き続き少年向けアニメを中心に放映していく方針だ。前述のように、全プログラム中25%しか音楽番組以外のジャンルに振り分けることができないという制約があるため、「D17」のバイ

ヤー担当者は、すでに評価が確立しているもの、または高い潜在力が認められる作品を優先していくと明言している。2013年には同チャンネルでは「トリコ」を放映予定である。

映画に関しては、同チャンネルでは年間52本の映画放映が認められているのみであり、うち60%は欧州の作品と定められている。したがって、非欧州作品の放映可能本数は年間わずか21本であり、チャンネルがより多くの視聴者を見込めると考えるハリウッド作品の放映に傾きがちであることの大きな要因となっている。

フランスの全てのチャンネルは、年間を通して放映する番組内容の内訳をあらかじめ政府組織であるCSA（視聴覚評議会）との協定で定めており、また仏語および欧州製作品の放映率（クォータ制）を守らねばならない義務を負っている。

表1 テレビ放送事業者による欧州産・仏語の映画・視聴覚作品の放映率（クォータを定めた規定とその内容）

	映画	視聴覚作品
根拠法	décret du 17 janvier 1990	L' article 13 du décret n° 90-66
欧州産・仏語作品を放映すべき率	映画放送事業者は、長時間映画作品の年間の放送・再放送回数のうち、欧州産映画を60%以上、うち仏語映画を40%以上、放映しなければならない。	地上波テレビ放送事業者は、年間放映時間のうち、欧州産視聴覚作品を60%以上、うち仏語視聴覚作品を40%以上、放映しなければならない。

出所：[「視聴覚最高評議会\(CSA\)」ウェブサイト](#)

この規制は、フランスおよびEUの製作を保護する目的でつくられた。

更に、テレビ放送事業者に対し、[欧州産・仏語の映画・視聴覚作品への投資義務](#)を課している。これらの規制はチャンネルの財務運営にも大きく影響を与えることになり、欧州産・仏語以外の番組、つまり日本製番組を購入する可能性を制限することになっている。

同局では、放映権獲得の際にキャッチアップTV（放送終了後の一定期間のVOD配信）の権利も同時に取得している。

TELETOON+ :

同局は、「CANAL+」の視聴者のなかでも若者層をターゲットとしており、月平均約342万人の視聴者を持つ。さらに兄弟チャンネルとして同じ内容を1時間遅れで放映する「TELETOON+1」の視聴者数は208万人である。（出所：Médiamétrie 2012年7月発表資料）

同局では、普段は主に子供向けのフランス製アニメ作品を放映する時間帯に、いくつかの日本アニメ作品を放映している。2013年1月現在放映中の日本アニメ作品は以下の通り。

「ジュエルペット」

「きらりん☆レボリューション」

「しゅごキャラ!」

<DISNEY グループ>

DISNEY XD :

「tweens」と呼ばれる10～12才の少年少女を主な対象とするというコンセプトの発祥地であるイタリアでの同チャンネルと同様、フランスのDISNEY XDチャンネルも「tweens」と呼ばれる10～12才の少年少女を主な対象としている。月平均の視聴者数は約289万5千人。（出所：Médiamétrie 2012年7月発表資料）

プログラムの内容は、米国製の番組が主だが、日本アニメシリーズの放映実績もあり、視聴者からの高評価を得ている。

「イナズマイレブン」（放映終了）

「ポケモン」（2013年1月現在放映中）

<France Television グループ>

公共放送であるフランステレビジョングループのチャンネルでは、主にフランスあるいは欧州で制作されたアニメ作品と、いくつかの米国製シリーズを放映している。France Televisionの3大チャンネルである、「France 2」、「France 3」、「France 5」において唯一放映されている日本アニメシリーズは、「France 2」および「France 5」チャンネルの、最も低年齢層を対象にした番組プログラムに組み込まれている「みつばちマーヤの冒険」のみである。

一方、ヤングアダルト層（15-34才）を対象にしている「France 4」では、近年いくつかのアニメシリーズのテスト放映を実施したが、この方針は終了したようで、現在日本アニメの放映は「France 0」チャンネルへと移行している。

「France 0」は、主にフランス海外県向けのチャンネルとしてスタートし、TF1 グループ傘下に入る前の「RF0」から海外県をフランス本土に紹介する窓口としての役割を引き継ぐが、TNT に組み込まれたことにより、フランス本土でより広範に視聴できるようになった。最近その編集方針に変化が生じている。ターゲットを 15-34 才のヤングアダルト層に向け、ヒップホップなどに代表される「カウンターカルチャー」を反映する内容に転換しつつある。この流れのなかで、日本アニメも番組編成に取り込まれ始めている。まず「NARUTO-ナルト-」の放映から開始され、2013 年 1 月現在は「青の祓魔師」、「アイシールド 21」の 2 作が放映中。放映時間帯は土曜と日曜の朝 8～ 10 時と、ターゲット層に対する視聴時間としては決して有利とは言えないが、放映開始間もないため、結果を分析するには時期尚早である。

現政府は目下、公共放送チャンネルのうち「France 4」または「France 0」のいずれかを若者層向けのチャンネルにしようと検討中であり、関係者間の話し合いが続いている。

<独立系（大手グループ傘下に入らない局）>

GONG TV :

GONG は IPTV で放映されており、同局によればフランス国内で提供されている 2 つのチャンネルの合計契約数は約 400 万である。同局によれば、第一チャンネルは週平均約 60 万人の視聴者を得ており、80% が日本アニメを主としたアニメ番組、残りの 20% が韓国ドラマで構成されている。第二チャンネルは第一チャンネルと逆のボリューム、つまり 80% 韓国ドラマ、20% がアニメ番組となっている。

現在よい数字が出ているのは韓国ドラマであり（2013 年 1 月現在、医療ドラマ「Brain」、学園もの「Dream High」が放映中）、日本アニメは「幽☆遊☆白書」が比較的好調である以外は総じて振るわない。

GONG は、原因として日本アニメの違法ダウンロードを挙げている。日本のアニメは、音楽と並んで世界でもっとも多く違法にダウンロードされており、音楽業界が直面しているのと同様の問題を抱えている、と GONG の関係者は話す。

2013 年も引き続き韓国ドラマに力を入れていく方針だが、日本アニメも同時に放映していく予定である。

NOLIFE :

NOLIFE は、一部の有料コンテンツを除き IPTV で無料で視聴可能だが 2010 年 11 月からケーブル放送も始まった。同局ではまた、「NOLIFE Online」と称するネット経由での番組のキャッチアップ視聴サービスを提供しており、視聴できる内容は登録料によってその範囲が段階的に決められている。NOLIFE の 2012 年 12 月時点のデータによれば、1 週間の視聴者は約 61 万人。ターゲット層は、日本のポップカルチャー好きなコアなファンが中心。

2011 年 12 月に放映された「妄想代理人」、「ラーゼフォン」、2011 年末～2012 年初めに放映された「サムライチャンプルー」は好成績であった。

2012 年末には「海月姫」 「C」 「フラクタル - FRACTALE -」を放映。2013 年には、2011～2012 年にすでに試みた「サイマルキャスト方式（注）」を、作品の評価が未確定である現在進行形のシリーズを扱うことによる不確定要素リスクを含みながらも、違法ダウンロードなどにも十分対抗しうる方法として、続けて採用していく予定である。

（注）：2 つの異なるメディアでの同時放映。ここでは、日本での放映と同時または僅かな時間差でのインターネット配信を指す。

<LAGARDERE グループ>

Gulli :

ファミリー向けチャンネルである「Gulli」は、D17と同様、無料NTN局であり、同ジャンルのチャンネルの中で、最も多くの日本アニメを放映している。

2013年1月現在放映中のシリーズは以下の通り。

「BeyWheelz」

「爆転シュート ベイブレード」

「爆丸バトルブローラーズ」

「Scan2go」（日本・韓国・ドバイ共同制作）

「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX」（+スピンオフ作品）

「トランスフォーマー アニメイテッド」

「アタッカーYOU!」

「イナズマイレブン」

「ポケモン」

上記のアニメ作品のほか、日本の特撮ヒーローもの「スーパー戦隊」シリーズの米国版リメイク「パワーレンジャー・サムライ」「パワーレンジャー・スーパーサムライ」を放映し、平均視聴者数31万5,000人（出所：Médiamétrie 2012年6月発表資料より）と好評である。

当チャンネルでは、日本アニメの人気も高く、なかでも「ポケモン」は4～10才の幼年層の視聴者の人気を獲得。また、「イナズマイレブン」、「遊☆戯☆王」、「爆転シュート ベイブレード」も平均視聴者数 25 万 2,000 人（出所：チャンネルからの情報）と好成績を収めている。

また、Gulli では長編のアニメ作品も定期的に放映しており、目下「ポケモン」と「イナズマイレブン」の劇場版の放映権を取得している。

Gulli では、今後も引き続き日本アニメを放映していく方針である。作品を選ぶ際には、他の多くのチャンネル同様、すでに高い評価を得ているか、息の長いシリーズであることに重きをおいている。

CANAL J :

「CANAL J」は、ケーブル/衛星/IPTV 経由で放映され、上記の「Gulli」よりも上の少年少女、および思春期前の年齢層（11～14 才）をターゲットとしており、月平均視聴者数は 342 万 5,000 人である（出所：Médiamétrie 2012 年 7 月発表資料）。

「CANAL J」では、「Gulli」でも放映している「爆転シュート ベイブレード」、「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX」、「パワーレンジャー」シリーズを放映して、好成績を上げている。更に、「CANAL J」のみで放映中の「NARUTO-ナルト-」も好評を得ている。

「CANAL J」は 2013 年も引き続き日本アニメを放映していく方針である。

2013年1月現在チャンネルで放映されている日本作品は以下の通り。

<アニメ>

「爆転シュート ベイブレード」

「BeyWheelz」

「シュガシュガルーン」

「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX」

「NARUTO-ナルト-」

「Scan2Go」

「遊☆戯☆王 5D's」

「遊☆戯☆王 ZEXAL」

<特撮ヒーローもの>

「パワーレンジャー・サムライ」

「パワーレンジャー・スーパーサムライ」

MCM :

ケーブル/衛星/IPTV 経由で放映。以前は音楽番組中心だったが、今では若者（特に青年）の向けの編成を行っている。視聴者数は月平均で 461 万 7,000 人（出所：Médiamétrie 2012 年 7 月発表資料）。1995 年という早い時期から日本アニメ放映を開始している当局では、現在も年間を通して日本アニメを放映している。もっとも好成績なのは「One Piece」で、「Bleach」、「アイシールド 21」がそれに続く。2013 年には「青の祓魔師」を放映予定。

JUNE :

MCM と同様ケーブル/衛星/IPTV での放映で、若い女性がターゲット。これまで放映した日本アニメ（「ナナ」 「Paradise Kiss」 「ヴァンパイア騎士」）はいずれも期待していた結果が得られず、近く日本アニメ枠を撤廃予定。

TIJI :

LAGARDERE グループ局の中で最も低年齢の幼児をターゲットとしており、目下放映中の日本アニメは「Hello Kitty」のみ。

<TF 1 グループ>

NT1 :

地上波デジタル局である当局で、2013 年 1 月現在放映中の日本アニメは、フランスとの共同制作作品である「太陽の子エステバン」（旧作）のみ。

<VIACOM グループ>

GAME ONE :

デジタル・カルチャー専門局である「GAME ONE」はケーブル/衛星/IPTV の放映。視聴者数は月平均で 609 万 7,000 人(出所:Médiamétrie 2012 年 7 月発表資料)。これにもうひとつのチャンネル「GAME ONE+」の 86 万 7,000 人が加わる。（出所:Médiamétrie 2012 年 7 月発表資料）

1998年の創設以来、「GAME ONE」では恒常的に日本アニメを放映している。

最も好成績を上げているのは「NARUTO-ナルト-」、「NARUTO -ナルト- 疾風伝」、「ドラゴンボールZ」などで、再編集版である「ドラゴンボール改」も、「NARUTO」シリーズには及ばないながらも健闘した。

（「NARUTO -ナルト- 疾風伝」の2012年4月の視聴者数3万7,429人に対し、「ドラゴンボール改」が2万6,303人（出所：Médiamétrie 資料））となっている。

2011年から放映が始まった「Fairy Tail」も好成績を上げている。

「GAME ONE」は、日本のアニメ制作会社マッドハウスが制作した米国のマーベルコミックのヒーローもののシリーズ（「IRON MAN」、「WOLVERINE」、「X-MEN」、「BLADE」）も放映しており、こちらも概ね好評である。

「GAME ONE」のバイヤーも他の局と同様に評価が確立している、長期のシリーズものを優先しているとのことだ。「GAME ONE」では放映権獲得の際にキャッチアップTVの権利も同時に取得している。

「パワーレンジャー」シリーズに関しては、チャンネルのターゲット層を考慮に入れると対象年齢が低すぎるとの判断で放映していない。

2013年には「NARUTO-ナルト-」、「Fairy Tail」の新シーズンを放映予定。

NICKELODEON :

ケーブル/衛星/IPTVでの放映。視聴者数は月平均で302万1,000人（出所：Médiamétrie 2012年7月発表資料）。主に米国の番組を放映している。日本アニメは2013年1月現在、GAME ONEと同様に「ドラゴンボール改」、そして、独占放映権を持つ「Blue Dragon」の2作品を放映。

<VIZ MEDIA>

KZTV :

日本のアニメ、ポップカルチャーをテーマとし、幅広いアニメのカタログを持つIPTVチャンネル。契約世帯は約51万世帯で、週の平均視聴者数は約4万人（出所：チャンネルからの情報）。

母体であったKAZEグループは、テレビ版・劇場版アニメのローカライズ、DVDの制作・販売、デジタル映像配信、マーチャндаイジング、音楽およびマンガ出版と広範囲の部門を持ち、15年以上に渡って日本のマンガ・アニメをフランスに紹介してきた。2009年7月、Japan Expoを機会に「Kazé TV」チャンネルの放映を開始し、同年8月には小学館、集英社、小学館集英社プロダクション（小学館・集英社グループ）がKAZEグループの買収を発表、完全子会社化した。小学館・集英社グループでは、この買収を「急拡大するインターネット等のニューメディアを利用した映像配信で経験と実績のあるKAZEグループの事業基盤と経営ノウハウを活用することを目的」としており、同じく子会社である、海外でアニメ・マーチャндаイジングおよびマンガ出版ビジネスを展開する「VIZ Media」傘下でヨーロッパでのライセンスビジネスを行う「VIZ Media Europe (VME)」を通して運営している。

番組は日本アニメ、ドラマ、劇場版またはTV用長編アニメなどが主で、フランスで最初に「海月姫」、
「べるぜバブ」を放映し、「PandoraHearts」、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「東京魔人學園剣風帖」などのフランスでは未放映だった作品も放映している。その他の日本アニメの放映作品としては「xxxHOLiC」「BLACK CAT」などのカルト的な作品がある。

ドラマでは、フジテレビで2012年5月に放映された「スイッチガール !!」がフランス語の字幕スーパーで同年7月から放映され、同じ7月初めにパリ郊外で開催された日本カルチャー展「JAPAN EXPO」には、ドラマの主演女優も来仏し、「フジテレビ」と「VIZ MEDIA」が共同でプロモーションを展開した。またKZTVは「美男<イケメン>ラーメン店」といった韓国ドラマを先駆けて放映しているチャンネルでもある。

以上フランスでの日本アニメを中心としたTV放映の状況を各局別に見てきたが、全体的に、以前と比べ放映される日本アニメのジャンル幅が狭まっている。「KZTV」、「Nolife」、「GONG」、「Mangas」などのJポップカルチャー専門局以外で現在日本アニメを放映している「D17」、「MCM」、「GAME ONE」といった局では、その作品のほとんどがshonen(少年)向け作品である。10年前には「CANAL+」でseinen(青年)向け作品（「MONSTER」など）、MCMではshojo(少女)向け作品が多く放映されていた。

いくつかの原因が考えられるが、ひとつは前述した「クォータ制」によって、欧州以外の作品を放映する余地が限られていることに加え、放送チャンネル数が一気に拡大したことにより、視聴者や広告の獲得競争が激化し、どの局もアニメでは確実に視聴者を獲得できる日本の少年ものの人気シリーズや、安定した高視聴者数を期待できる米国製アニメ（マーベル・コミックのヒーローものなど）を指向する傾向が強いことなどが挙げられる。

今後、アニメを中心とする日本のコンテンツをフランスTV業界にさらに浸透させるためには、各チャンネルの番組編成や番組購入部門の決定権を持つキーパーソンに日本アニメへの理解を促進するよう働きかけることが重要である。また、クォータ制の壁を乗り越えるためにも、欧州の制作会社との共同プロデュースの推進や、まだその潜在力が十分に試されているとはいえない少女もの・青年ものの認知を高めるための突破口の模索などが求められている。

II 2011 年および 2012 年における欧州の TV 市場

欧州でのアニメ作品の人気傾向

欧州の主要国でのアニメ作品の放映は主に無料の NTN 局、もしくは子どもから若者層向けの専門チャンネルで放映されている。とくに長編アニメ作品は、学校の休暇時期に集中的に放映されることが多く、視聴率獲得の大きな牽引役となっている。放映される作品は世界的人気を持つ米国製アニメが中心で、さらにフランスなどでは自国製アニメ作品も人気が高く、多数放映されている。

2012 年にフランスで放映された長編アニメ作品でもっとも視聴者を獲得したのは、地上波デジタル最大の民間チャンネル「TF1」で放映されたハリウッド・アニメ作品「アイス・エイジ 3」(FOX)で、約 920 万人の視聴者を得た(出所: Médiamétrie/CNC)。また、スペインでも 2012 年 6 月に Boing チャンネルで「アイス・エイジ」が放映され、チャンネル史上最多の視聴者を得たという。

以下は 2011 年にフランスの TNT の無料放送局でもっとも視聴された長編アニメ作品のランキングでフランスのバンド・デシネを原作とする「アステリスク」の人気が高い。*()内は放映チャンネル名

- 1) 「Alvin and the Chipmunks (米) : Chip-Wrecked」 (France 4)
- 2) 「Astérix chez les Bretons (仏) 」 (W9)
- 3) 「Astérix et Cléopâtre (仏) 」 (W9)
- 4) 「Astérix et la surprise de César (仏) 」 (W9)
- 5) 「Astérix le Gaulois (仏) 」 (W9)

(出所 : Médiamétrie/CNC)

さらに、アニメを多く放映する子ども～青少年向け無料地上波デジタルチャンネル「Gulli」の2011年の月毎の最多視聴者獲得作品は以下の通り。下線は日本アニメシリーズ。

1月 「Linus et Boom」 (フランス制作CGアニメシリーズ)

2月 「Les Zinzins de l' Espace」 (フランス制作アニメシリーズ)

3月 「La ferme en folie」 (フランス制作CGアニメシリーズ)

4月 「Camp Lazlo」 (米国製アニメシリーズ)

5月 「Open Season 2」 (米国製長編アニメ)

*日本名は「オープン・シーズン2 ペット vs 野生のどうぶつたち」

6月 「メタルファイト ベイブレード」 (日本アニメ)

7月 「Kirikou et les bêtes sauvages」 (フランス制作長編アニメ)

8月 「Quat' Zieux」 (フランス・アイルランド合作アニメシリーズ)

9月 「Dexter' s Laboratory」 (米国製アニメシリーズ)

10月 「Open Season 2」 (米国製長編アニメ)

11月 「メタルファイト ベイブレード」 (日本アニメ)

12月 「メタルファイト ベイブレード」 (日本アニメ)

青年～大人向けアニメシリーズでは、米国製の「シンプソンズ」(W9) (Canal+) 「フューチャラマ」 「アメリカン・ダッド」 (ともに NRJ 12) などが安定した人気を得ている。

【付録】 2011 年および 2012 年における欧州主要国の TV 市場における日本アニメの状況

【ドイツ】

ドイツで日本アニメを放映している主なチャンネルは地上波デジタルの民間局「RTL II」

(<http://www.rtl2.de/>) で、2013 年 2 月現在放映中のアニメ作品は以下の通り。

「名探偵コナン」

「ドラゴンボール」

「ドラゴンボール Z」

「NARUTO-ナルト-疾風伝」

「ポケモン」

「イナズマイレブン」

「遊☆戯☆王 ZEXAL」

ディズニーが 50%を所有する地上波デジタルの「Super RTL」では、「マッドハウス (日)」が制作したマーベル・コミック原作のアニメ作品を放映している。

ドイツで日本アニメを放映するその他のチャンネルとしては、思春期前の子どもを対象とした「Anixe」

(http://www.anixehd.tv/index_kids.html) があり、2013 年 2 月現在は「フランダースの犬」、「ロビンフッドの大冒険」、「赤毛のアン」、「手塚治虫の旧約聖書物語」、「楽しいムーミン一家」などの子供向けの旧作を放映している。

MTV/Viacom 傘下の音楽を中心とするチャンネル「Viva」(<http://www.viva.tv/anime>) でも、「名探偵コナン」 「One Piece」などの、メジャーなアニメ作品を放映。

また「Nickelodeon Deutschland」では「爆転シュート ベイブレード」、「遊☆戯☆王 ZEXAL」と日米共同作品「獣旋バトル モンスーノ」を放映している。

【英国】

英国では「Manga Entertainment」(<http://www.manga.com/aboutus>) などにより、日本のアニメが紹介されてきた。しかし現在ではフランスやドイツと比べて日本アニメ放映が相対的に少ない国となっている。科学エンタテインメント系チャンネル「SyFy」などで時折日本アニメ長編が放映される以外は、一般向けチャンネルでの日本アニメ放映はほとんど行われていない。

英国のいくつかのメディア情報誌は、日本の戦隊シリーズの米国版リメイクである「パワーレンジャー」シリーズが来年で20周年を迎え、関連商品の売れ行きが好調と報じている。

2012 年末現在、英国で放映されている日本アニメ

Nickelodeon UK:

「メタルファイト ベイブレード」

「獣旋バトル モンスーノ」

「遊☆戯☆王デュエルモンスターズ GX」

「パワーレンジャー」 「パワーレンジャー・サムライ」

Cartoon Network UK :

「爆丸バトルブローラーズ」

「爆丸バトルブローラーズ：ガンダリアンインベーダーズ」

「爆丸バトルブローラーズ：ニューベストロイア」

CITV :

「獣旋バトル モンスーノ」

「ポケモン」

出所：ジェトロ調べ

【イタリア】

イタリアでは子供向けチャンネルのみならず、大人向けの一般、専門チャンネルでも日本アニメが放映されている。

日本アニメの専門チャンネル Anime Gold もあったが、2012年7月に廃局となった。再放映の頻度が高かったことによる視聴者数の減少、競合チャンネルの存在などから導かれた経営判断と推測される。

同じくアニメ専門チャンネルで日本アニメも多数放映していた Hiro (Mediaset (地上波テレビ局) の衛星デジタル放送 Mediaset Premium の中のチャンネルとして 2008年12月に始まった) は 2011年8月より Mediaset Premium 系列の Net TV (PC やタブレット端末でも視聴可能なチャンネル) に移行した。

日本アニメを放映しているイタリアの放送局と作品名 (2013年1月現在)。

Disney XD : (<http://www.disney.it/disney-xd/pokemon-dp-battle-dimension/>)

ディズニーチャンネルの中の一つで、ディズニーの選んだアニメやドラマ、バラエティを放送する、子供向けチャンネル。

「ポケモン」

Boing : (<http://www.boingtv.it/programmiinterna.shtml?123>)

アニメを中心に、一部子供向けのドラマも放映する、子供向けチャンネル。

「キャプテン翼」

Cartoon Network : (<http://www.cartoonnetwork.it/>)

アニメを中心に、一部子供向け実写物も放映する、子供向けチャンネル。

「爆丸」シリーズ4作

K2 (旧 Fox Kids) : (<http://www.k2tv.it/>) アニメを中心に、一部子供向け実写物も放映する、子供向けチャンネル。

「ポケモン」

「Scan2go」 (日本・ドバイ・韓国共同制作)

「獣旋バトル モンスーノ」

日本の戦隊シリーズの米国版リメイク「Power Rangers」

Rai Gulp : (<http://www.raigulp.rai.it/dl/RaiGulp/gulp.html>) 公共放送「RAI」が運営する地上波デジタル衛星放送

「イナズマイレブン」

Frisbee:

4歳～10歳の子供向け放送局。

「とっとこハム太郎」

MTV Italia 太郎: (<http://www.mtv.it/>)

アニメの他、音楽・若者向けのバラエティ番組も放映する一般向けチャンネル。

「鋼の錬金術師」

「犬夜叉」

出所: ジェトロ調べ

【スペイン】

スペインでは全国ネット局と地方局が存在し、地方局ではその地域の独立言語で放映されているチャンネルもある。

全国ネット局では、日本アニメはほぼ独占的に子ども向けの無料地上波デジタルチャンネル「Boing」(<http://www.boing.es/>)で放映されている。「Boing」では、米国製アニメと日本アニメを取り混ぜた番組編成を行っており、日本アニメでは「One Piece」「ドラゴンボールZ」、「NARUTO-ナルト-」、「イナズマイレブン」、「ドラえもん」「メタルファイト ベイブレード」といった人気ヒット作が並んでいる。この戦略は成功を収めており、「Boing」は強力な競合相手である「Disney Channel」と並ぶ人気を得ている。

その他では、子ども向けの地上波デジタル公共放送局「Clan TVE」 (<http://www.rtve.es/infantil/>) で「ポケモン」、TNTの民間局「Neox」 (<http://www.antena3.com/neox/>) で「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、「クレヨンしんちゃん」を放映している以外は日本アニメの放映はほとんどないのが現状だ。

また地方局では、カタルーニャ地方の「Super 3」チャンネル (<http://www.super3.cat/psuper3/sp3Seccio.jsp?seccio=home>) で「ドラゴンボール改」「ドラえもん」、NHKのアニメ「エレメントハンター」が放映されている。

まとめ（欧州の現状）

以上、欧州主要国での日本アニメ放映の現状を見てきたが、全体の傾向として、もっとも成功を収めている作品は、「One Piece」「NARUTO-ナルト-」「ドラゴンボール」といった世界的に人気度の高いロングシリーズである。

また、「爆丸」と「ベイブレード」の2シリーズはほとんどの国で放映されており、同じ年齢層を対象にした「遊☆戯☆王」シリーズや「イナズマイレブン」も好調である。スピノフ作品も放映しているチャンネルもあることから、好評を得ていることがうかがえる。また、特撮ヒーローものの「スーパー戦隊」シリーズを米国企業が海外向けにリメイクした「パワーレンジャー」シリーズも、主にフランスと英国新シリーズが好評を博している。

取材協力 Olivier RICHARD（ジャーナリスト・元テレビ局MCMバイヤー）

アンケート返送先 FAX : 03-3582-5309

e-mail : ORA@jetro.go.jp

日本貿易振興機構 海外調査部 調査企画課宛



● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：フランスを中心とする欧州のコンテンツ市場（2011-2012）テレビ編

今般、ジェトロでは、標記調査を実施いたしました。報告書をお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書での内容について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

--

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

--

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

ご所属	<input type="checkbox"/> 企業・団体	会社・団体名
	<input type="checkbox"/> 個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針

(<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

